

自昭和十四年六月一日  
至昭和十四年六月三十日

# 陣中日誌

獨立山砲兵第三聯隊

各隊長ニ與フル指示

昭和十四年六月七日  
陸軍聯隊本部

顧ルニ聯隊ハ昨年十月第三師團ニ配属セラシ全カヲ此ノ地ニ集結  
シ爾後上司ノ指示ニ基キ滞在指、久シキ巨ルヲ適量倍ニ教育  
内務其ノ他ノ諸行事ヲ計畫シ之カ空行ノ途上 偶々本年  
一月俄ケル追發ヲ命セラレ折極ノ霖雨ヲ月ニ泥濘ニ數十里  
ヲ行軍ミテ南昌攻略戰ニ參加シ彼ノ壯烈極マル修水河畔ノ  
砲兵戰次々テ晝夜兼行果敢ナル追撃ニ於テ恰天山砲、獨上  
的砲兵戰ヲ遂行シ以テ月餘ト豫想セラレタル南昌攻略モ僅ニ旬日ヨリテ  
スミテ此ヲ公認セリ

此ニ休養ノ道ヲ直クニ轉進ヲ命セラシ行軍並船 船鐵道輸  
送第ヲ併用シ程ノヲ尋ねノ間ニ夫々兵力ヲ集結シ主力ヲ攻テ  
第三師團一部ヲ以テ第十六師團ニ配属セラシ今次東來令戰ニ參加  
シ共ニ勇戰力闘以テ遠大ナル戰果ヲ擧ケ得タルコト殊ニ諸官ノ諒知  
セラルル所ナリ

而シテ第十師團方面ノ狀況ニ就テハ未ク詳細ヲ承知シ得サルモ  
 當方面ニ於テハ、我々砲兵戰隊、勇猛果敢且歩兵ニ對スル密接ナル  
 協カヲ以テ歩兵ノ攻撃ヲ極メラシ、容易ナラシメタル所ニシテ諸官以下  
 ノ勞ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表スルト共ニ中隊長堤大龍尉以下名譽  
 ノ戦死者ニ對シテ謹テ敬申ノ意ヲ捧クル次第ナリ  
 茲ニ大會戰ノ一段落ト共ニ聊カ將末ニ関スル本戰ノ企圖ヲ聞キシテ  
 其ノ智向ヲ所ヲ明ニセントス  
 當聯隊ノ參戰久キニ渡リ近來ノ動モスレハ地方面ニ移轉スルマニ履  
 働スルモノアリキニ非サルモ、尙モ事將來ノ行動ニ関スル限り極秘ニシ  
 テ、親知スルヲ得サルモ先ツ當分少クモ今夏ハ異働ナキモノト判断セラ  
 ル、コト以テ各隊ハ以下指示スル所ニ依リ今後ノ作戰準備教育  
 内務及事務整理ニ盡碎ニシテ萬遺憾ナキヲ期セラレヌコトヲ  
 望ム  
 以下項ヲ追フテ述ヘントス

一 軍紀風紀

軍紀風紀、緊縮ニ就テハ作年式漢攻略戰後訓指マニテ今茲ニ  
 重ホテ之ヲ詳述モサルモ最近某中隊ニ於テ軍紀ヲ紊リ甚罪セラレ  
 タル下士官及兵アリ宜ニク前述訓示ヲ再讀ニ各級幹部自肅自武ト  
 懇切ナル指導トテ更ニ西望ニテ己ニカサル也等ナリ  
 宣撫工作ノ進捗ニ伴ヒ更ニ注意ヲ倍茲スルヲ西望スルハ第一支那  
 婦女子ニ對スル言動第ニ掠奪發射的行爲、第三飲食、酒暴行、  
 第四軍機漏洩第五火災及破壞的ニ行爲之ナリ

二 教育

教育ニ関シテハ別冊ヲ以テ指示ス仍テ昭和十四年初頭ニ興ヘタル  
 教育ニ関スル指示ト共コト合冊スヘシ

三 宿舎及給養

時恰モ白着ノ服割ハ當地ハ暑者嚴シク且各種傳染病流行ノ地  
 ナレハ衛生施設ト給養トヲ適切ナラシムルコトニ関シテハ各隊長ヨリ

七 豫後備召集將校、各科長ニ就テ口達ス

八 下士官考科表ノ新調及整理

新任下士官多ク又下士官ノ身上異動懸カラサル現況ニ於テ  
着々之カ新調及整理ヲテニ遺漏ナキヲ要ス

九 昔年決算ノ交代

少々モ大正十一年徵集力前ノ兵ノ交代セシメテテ希望ヲ有スルヲ  
以テ此ノ際調査ノ上聯隊本部ニ提出スヘシ

十 漢口出張者

努メテ取纏ヲ出張ノ回数及人員ヲ最少限度ニ制限スルヲ要ス

十一 連保ノ開設

連保ハ聯隊ニ二個(西又隊  
各一個)ヲ開設シ聯隊本部聯隊段列要スレハ中  
隊ニ分所ヲ設置スヘシ

連保品ハ野戰倉庫ヲ購買スルヲ本則ニス

十二 慰安所ニ就テ口達ス

交通紅虎精神の慰安郵便物函保等ニ対スル意見

一 交通・衛生件

部隊ノ大部分ハ應山北方ニ行乃至五行ノ本道ヨリ更ニ一ノ終ニテ一行乃至

二行行程地域ニ黙々宿營シテ以テ各隊間ノ交通ハ相當不便ヲ感シモツ

アリ然レテ糧秣補給其ノ他ノ運搬ハ目下駄馬ニヨルモ人馬共ニ疲勞

著ク次期作戦ニモ支障ヲオスルノ虞アリ故ニ自隊ニ於テ種々道路ノ

補修・逸メクアルモ自動車道ヲ構築シ自動車ノ配給ヲ交ケ之ニ依リ運搬

スルヲ顧慮セシ度

二 精神の慰安・衛生件

ノ慰安團及軍樂隊ヲ層増派シ且慰問品及慰問文ノ屢々送付アル様

配慮セラシ度

又慰問品ハ師團ノ配屬替ニテ關係上支給セラルル田數極メテ少ク且郷工

師團ノ配屬セラレテ上郷工ヨリノ慰問品ハ交領シタルコト殆トスル

郷工ヨリノ慰問品ハ兵士多ク大ノ精神の慰安ヲ與ルモノト思考セシ

<p>付并別々慮ヲ措ケ度</p>	<p>了并并慰安所ノ外ニ尚師團ニ於テ販賣人ヲ指定シ氣持ヨキ飲食店又ハカネ一式ノモノヲ設置(要スレハ軍人ホーム)ニシテ層々ノ慰安ニ努クメラレ度</p>	<p>又現任ノ特殊慰安所ハ慰安婦ヲ口惜慾ヲ満スニステラス今少シ慰安婦ヲ増シ精神的慰安ヲモナサシムル如ク指導セラレ度</p>	<p>三 郵便物ニ關スル件        中支派遣作戦地内ノ居留民ニ對シ郵便物ノ發送ヲ極力セラシムルモ檢査ヲ嚴シク發送を弄得ル如クマラレ度</p>	<p>四 酒保ニ關スル件        酒保品ノ品種數量ヲ増加シ品質ヲ向上シ兵士ノ希望ヲ満足セシムル様セラルト共ニ食料品ノミナラス日用品等ヲモ販賣スル酒保ヲ設置セラレ度</p>	<p>五 其他        各中隊段列一個宛木製五人入り位ノ浴槽ヲ支給セラレ度</p>
------------------	--	---	---	--	--

(昭和十六年大平比呂)